



新型コロナウイルスの位置付けが五類感染症となり人の移動等の制約がなくなつた影響で予定していた旅館の予約が取れず、また三春の若松屋旅館は休業中となつており今年の会場は昨年と同じ中ノ沢温泉花見屋となり日程も十二日から十九日と変更になりました。

観光は猪苗代湖畔の天鏡閣という有栖川宮威人（たけひと）親王殿下が別邸として建てられ昭和二十七年に福島県へ下賜されたというルネッサンス風木造天然石板葺建物で国指定重要文化財をじっくり眺めてまいりました。参加者は他の町会から三名のゲスト参加者を交えて一八名でした。

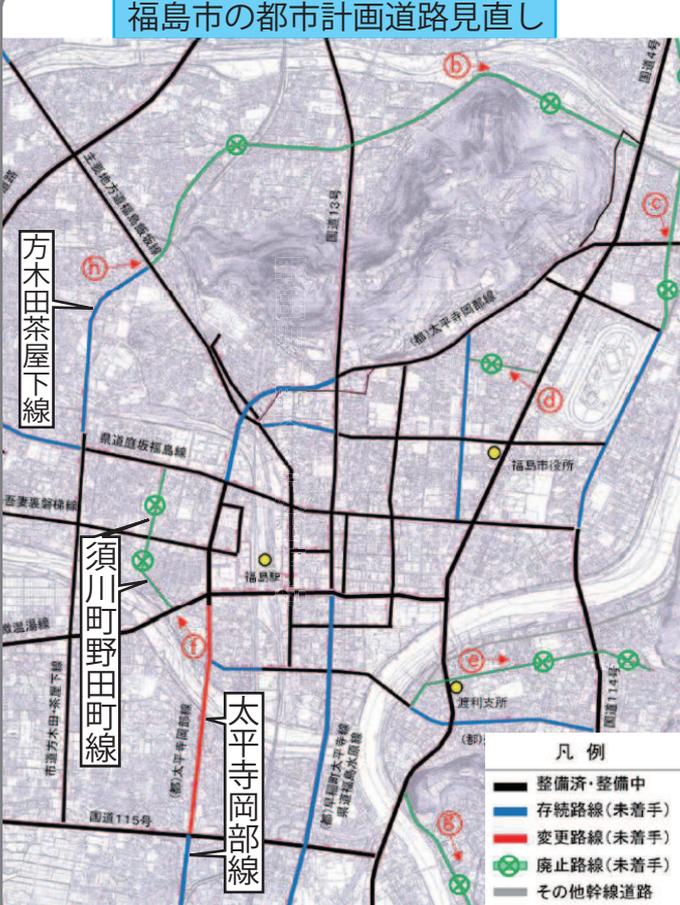
十一月初めの回覧板で「都市計画道路 須川町野田町線廃止の説明会開催について」という福島市からの文書が回りました。須川町野田町線という聞いたこともない道路が廃止されるらしいので三河台学習センターに向き話を聞いてまいりました。

須川町野田町線とは庭坂街道のサーパス野田と高野塗装の間から南に向かい高湯街道を突っ切り須川診療所の東の辺りで東寄りに向きを変えて隣保館の向かいで終わる昭和二十六年にできた100%未着手の計画でこの度、廃止と決定されたということでした。この計画が廃止されても現状で混雑などないので影響はないと思います。

今まで道路計画ができると計画は見直しされる事はないと聞いたことがありましたが担当者に質問すると、国の方針が転換し長期未着手の計画は見直しをしないということ、今回初めて道路計画の見直しを行い廃止路線が決まったということで、十五年、二十年経過したら再度の見直しがあるだろうとの見方でした。

そこで気になるのが八田神社の軒先をかすめる「方木田茶屋下線」の庭坂街道からの北進ルートなので問合わせると、今回の見直しでは県工北の飯坂街道の自転車屋の信号付近で合流までの計画は残って、信夫山の北側を回って国道四号の松川橋までの計画は

廃止となったようです。



ちなみに民報ビルの前の道路は「太平洋寺岡部線」という名称で北は山形新幹線、東北本線、飯坂線丸森線、東北新幹線などをかい潜り信夫山南の祓川ぞいの道路に接続し、南は国道115号を越えて現在の西道路終点の接続道路までの計画となっています。